

A D B 総会

差格情報・貧困 解消に91億円

村上副大臣 新規拠出を表明

【ホノルル10日共同】米ホノルルで開かれているアジア開発銀行(A D B)年次総会は二日目の十日、各国代表(総務)による演説に入り、村上誠一郎財務副大臣は貧困削減と情報格差(デジタルディバイド)是正のため、新たに計九十一億七千万円の支援を実施すると表明した。

A D B最大の課題である貧困削減のため、日本は昨年、百億円を拠出し「貧困削減日本基金」を創設。インドネシアの路上で生活する子供(ストリートチルドレン)に対する教育・技能訓練など十件、三十三億円の事業が始動している。

副大臣は今回、同基金に七十九億円を追加拠出し、財源の強化を図る方針を説明した。また情報技術(I T)に関し、「世界経済の新たな繁栄のため必要不可欠」と指摘。発展途

上国のI T化を促進し、格差を是正するため十二億七千万円を新たに拠出。通信関連機材の購入や研修など人材育成に充てていく考えを明らかにした。

アジア通貨基金将来的 に目指す

村上副大臣会見

【ホノルル10日共同】アジア開発銀行(A D B)総会に出席している村上誠一郎財務副大臣は十日、ホノルルで記者会見し、シンガポール、インドネシアとも今後、

通貨交換(スワップ)協定の締結協定を進めるとともに、将来的に「アジア通貨基金(A M F)」への発展を目指す考えを明らかにした。

金融危機の再発を防ぐため、日本は韓国など三方国と通貨協定の締結に合意。中国、フィリピンとの交渉も進展している。中国と韓

国なども含め八協定が近く締結される見通しで、通貨交換ネットワークが具体化する。

副大臣は「個人的にはA M Fに持つていければいいと考えている」と明言。当面は二国間協定を締結するなど「一歩ずつ前進し、実績を積み重ねていく」ことで、A M F設立の機運を高めていく方針を示した。



アジア開発銀行の年次総会で演説する村上誠一郎財務副大臣(10日、ホノルル(共同))